

「届けたい！日本の元気。韓国の友情。」 ～KOREA 東北親善大使派遣事業～

ソウル事務所

1 目的

クリアソウルでは、韓国外国語大学日本学部と連携・協力し、韓国の学生6名を「KOREA 東北親善大使」として、被災地3県（北チーム：宮城、岩手 南チーム：宮城、福島）に派遣します（日程：2012年2月14日～19日）。この事業では、韓国の学生が目と心で、「日本の元気」や「東北の魅力や楽しさ」を見て感じて、彼らの言葉で韓国へ情報発信（SNS活用など）します（他にアジアナ航空HP、観光新聞などで発信を予定）。学生による若者世代への「口コミ」を通じて元気な日本の姿を伝えることで、日本への観光客数の回復等への足掛かりとなることを期待しています。

2 KOREA 東北親善大使委嘱式

学生たちの派遣に先立ち、2012年2月8日（水）にソウル事務所において委嘱式を開催しました。式では、安本俊夫ソウル事務所長から、学生たちに向けて「被災地の自治体にとって、観光に来てくれることこそが一番の復興支援です。今回派遣される皆さんには、実際に見て感じた『日本の元気や魅力』、そして『楽しさ』を、皆さんの視点で、韓国の方々に伝えていただきたい。」というメッセージとともに、学生一人一人に委嘱状を手渡しました。続いて、学生から「自分の目で見た元気な日本の姿を韓国に伝えたいと思います。」と力強い決意表明がありました。



委嘱式にて（委嘱状を持った親善大使の学生）

3 駐大韓民国特命全権大使表敬

委嘱式のあと、学生たちは在大韓民国日本大使館を訪問し、武藤正敏駐大韓民国特命全権大使を表敬しました。武藤大使は、「震災後、韓国の方々からは多くの支援と暖かい言葉をいただきました。これからの本当の支援は多くの方が東北地方を観光し、激励することです。若い皆さんが見たもの、聞いたものをそのまま伝えてほしいと思います。」と学生たちを激励されました。



武藤正敏特命全権大使（中央）と親善大使

4 今後の日程（予定）

	北チーム(宮城・岩手)	南チーム(宮城・福島)
2月14日 (火)	共通日程 ・韓国（仁川空港）⇒日本（仙台空港） ・仙台市内（東北大学の留学生等との意見交換、交流）	
2月15日 (水)	共通日程 ・被災地南三陸町訪問（防災センター、ホテル観洋、オクトパス君作成現場、仮設商店街） ・語り部の話を聞く ・石巻市「道の駅上品の郷」訪問	
2月16日 (木)	・観光地訪問（岩手県） 狛鼻溪、平泉中尊寺など	・観光地訪問（福島県） アマリリふくしま、ハワイズ など ・いわき市長表敬訪問
2月17日 (金)	・観光地訪問（宮城県） 塩釜、松島、瑞巖寺など	・観光地訪問（福島県） 鶴ヶ城など ・会津若松市表敬訪問
2月18日 (土)	・観光地訪問（宮城県） 鳴子温泉	・観光地訪問（福島県） 大内宿、喜多方
2月19日 (日)	共通日程 ・日本（仙台空港）⇒韓国（仁川空港）	

【KOREA 東北親善大使派遣事業プロジェクトチーム】

川村祥生（富山県派遣）、小椋 大（宮崎市派遣）

松崎謙二（松山市派遣）、上田将章（鳥取県派遣）

【参考】報道（2012年2月9日現在）

NHK <http://www3.nhk.or.jp/news/html/20120209/k10015891841000.html>

NHK NEWSWEB 各地のニュース NHK WORLD SPORTS NHKオンライントップ 記事検索

気象・災害情報 原発再開は“慎重に” 東電福島第一原発 東北ふるさとニュース NEWSWEB 24

News トップ 特集 News on Twitter News on ブログ 動画 テレビ ラジオ

韓国の学生 被災地の情報発信

2月9日 5時49分

ツイートする シェアする チェック

※クリックするとNHKサイトを離れます

東日本大震災で被災した東北地方を、韓国の大学生が訪れて、体験したことをインターネットなどで発信することになり、被災地の復興ぶりや、観光資源の魅力を広く知ってもらえるきっかけになることが期待されています。

これは、日本の自治体の海外展開を支援する「自治体国際化協会」のソウル事務所が企画したものです。8日はソウルで、被災地を訪ねることになった韓国の大学生6人などが出席して、セレモニーが開かれました。6人はいずれも日本語能力が高い韓国外国語大学の学生で、今月14日から6日間の日程で、宮城や福島、岩手を訪ねて、被災地の復興の状況を聞いたり、被災者と交流したりする予定です。学生たちは、パソコンやスマートフォンを持参して、インターネットの交流サイトなどを通じて、現地から自分たちの体験や感じたことを発信することになっています。参加する学生は「自分の目でありのままの日本を見て、韓国に伝えることができたらうれしい」と話していました。協会側は、日本の元気と東北の観光地の魅力を広く知ってもらい、韓国からの観光客の回復につなげたいとしています。

テレビ朝日 <http://www.tv-asahi.co.jp/ann/news/web/html/220208064.html>

tv asahi 5

【震災】激減の観光客呼び戻せ 韓国学生らが応援 (02/08 05:50)



東日本大震災で大幅に減った韓国からの観光客を呼び戻そうと、韓国の大学生が親善大使として東北地方を訪問することになりました。

親善大使の委嘱式:『届けたい日本の元気。韓国の友情事業におけるコリア・東北親善大使を委嘱します』

被災した東北3県を訪問するのは、韓国外語大学で日本語を勉強する学生6人です。6人は教授らとともに来週に仙台入りし、被災地を訪問するとともに岩手、宮城、福島3県の観光地なども訪ねます。

親善大使の女子学生:「直接、体験した元気な日本の姿を伝えていきたいと思います」

ツイッターなどで随時、現地の様子を伝えるほか、帰国後には旅行記などで韓国内に生の現地情報を広めていく予定です。日本政府によりますと、アジア各国からの観光客が戻りつつあるなか、去年12月の時点でも韓国から観光客数は30%のマイナスです。

共同通信 http://www.47news.jp/korean/korean_peninsula/2012/02/034757.html

◎東北3県に韓国人学生派遣 口コミ情報で観光回復狙う

【ソウル共同】日本の元気と魅力を韓国に伝え、韓国人の友情を日本に知らせたい韓国外語大（ソウル）の日本学部の学生と大学院生の男女計6人が8日、「KOREA 東北親善大使」を委嘱され、14～19日に東日本大震災からの復興に励む岩手、宮城、福島の3県を訪問することになった。

親善大使は、日本の自治体国際化協会ソウル事務所が委嘱。現地での体験や感じたことを短文投稿サイト「ツイッター」や交流サイトのフェイスブックを通じた「口コミ」で韓国人に伝え、震災と東京電力福島第1原発事故で打撃を受けた観光の回復に一役買ってもらおうのが狙いだ。

Japan's Leading News Network
KYODO NEWS
報道通信社

【동일본대지진】한국인 대학생 ‘동북친선대사’ 위촉
12/02/09 09:33

도호쿠 3개 현에 한국인 학생 파견
‘입소문’으로 관광 홍보 노련

【서울 교도】「일본의 힘과 매력을 한국에 전하고 한국인의 우정을 일본에 알린다」. 한국외국어대학교(서울) 일본학부 대학생과 대학원생 남녀 총 6명이 8일 「Korea 동북친선대사」로 위촉돼 14~19일 동일본대지진 복구에 힘쓰는 이와테현(岩手県), 미야기현(宮城県), 후쿠시마현(福島県) 3개 현을 방문하게 됐다.

친선대사는 일본지자체 국제화협회 서울사무소가 위촉했다. 현지 체험과 느낀 점을 담은 메시지 서비스인 ‘트위터’나 ‘인적 교류 사이트 페이스북’을 통해 한국에 ‘입소문’을 내고 재해와 도교전력 후쿠시마 제1원전 사고로 타격을 입은 관광시장 회복에 한몫 해주길 바란다는 의도다.

이번 계획에서 6명은 센다이시(仙台市)에서 도호쿠(東北) 대항 학생들과 교류할 예정이다. 재해를 입은 미야기현 미나미산리쿠정(南三陸町) 등을 방문하고 이재민들과 미야기를 나누게 된다. 이와테현 헤라이즈미정(平泉町)과 미야기현 시오가마시(盛岡市), 후쿠시마현 이와키시(いわき市), 후쿠시마현 아이즈와카마시(会津若松市) 등지도 방문한다.

무토 마사토시(武藤正敏) 주한 일본대사 등은 이들 6명을 격려했다. 대학교 2학년 김서경(20) 씨는 “일본에 처음 가게 됐다. 일상 모습을 그대로 느끼고 싶다”고 밝혔다.

일본정부 관광국에 따르면 원전 사고 이후 급감했던 외국인 일본관광객 수는 지난해 12월 전년 대비 11.7% 감소한 57만 2,300명까지 회복됐지만 한국인 관광객은 전년 대비 30.1% 줄어든 14만 1,600명에 그치고 있다.

‘Korea 동북친선대사’로 위촉된 한국외대 학생들이 기념촬영을 하고 있다=8일, 서울【교도통신】2012/02/08

計画では、6人は仙台市で東北大学の学生と交流。被災した宮城県南三陸町などを視察し、被災者から話を聴く。岩手県平泉町や宮城県塩釜市、福島県いわき市、会津若松市なども訪れる。

武藤正敏（むとう・まさとし）駐韓日本大使らが6人を激励。2年生の金曙＝（日ヘンに景）（キム・ソギョン）さん（20）は「日本に行くのは初めて。日常をありのままに感じたい」と話していた。

日本政府観光局によると、原発事故後に急減した日本への外国人旅行者数は、昨年 12 月には前年同月比 11.7%減の 57 万 2,300 人にまで回復したものの、韓国人旅行者は同 30.1%減の 14 万 1,600 人とどまっている。

